



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名 小林製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,079	△6.0	3,552	△34.8	3,793	△32.0	3,783	11.2
24年3月期第1四半期	29,866	△2.8	5,448	16.0	5,575	18.9	3,402	24.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 5,192百万円 (43.4%) 24年3月期第1四半期 3,621百万円 (46.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	92.39	—
24年3月期第1四半期	83.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	143,276	105,150	73.4	2,567.87
24年3月期	147,890	101,879	68.8	2,484.08

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 105,150百万円 24年3月期 101,719百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	35.00	—	43.00	78.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,100	0.1	10,500	△2.0	11,000	0.4	6,900	12.2	168.50
通期	132,000	0.6	20,000	3.6	20,900	4.0	12,500	6.6	305.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	42,525,000 株	24年3月期	42,525,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,576,387 株	24年3月期	1,576,287 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	40,948,640 株	24年3月期1Q	40,949,021 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などに支えられ、景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、電力供給の懸念に加え、欧州の債務危機問題などを背景に、個人消費や企業活動は依然厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念である「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、顧客の潜在ニーズを満たす新製品やサービスの提供、市場の活性化を促す既存ブランドの育成、今後の成長事業である通信販売事業や海外展開への積極的な投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は28,079百万円と前年同期と比べ1,787百万円(△6.0%)の減収、営業利益は3,552百万円と前年同期と比べ1,896百万円(△34.8%)の減益、経常利益は3,793百万円と前年同期と比べ1,781百万円(△32.0%)の減益となりました。四半期純利益においては3,783百万円と前年同期と比べ380百万円(11.2%)の増益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

#### 家庭用品製造販売事業

当事業では今春、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を15品目発売いたしました。なかでも、薬用炭を配合した腸内環境改善薬「クレンジル」、気軽に新しい香りが楽しめるお部屋用芳香消臭剤「Sawaday Happy(サワデーハッピー)」が好調に売上を伸ばし業績に貢献しました。

また既存品においては、女性保健薬「命の母」、歯槽膿漏を防ぐ薬用ハミガキ「生葉」、虫歯・歯周病の原因となる食べカスや歯垢を除去する歯間清掃具「糸ようじ」などの売上は堅調に推移しました。

一方、天候不順の影響から、額用冷却シート「熱さまシート」、冷却ジェルマット「熱さまひんやりジェルマット」など暑さ対策製品の売上が苦戦した結果、衛生雑貨品の売上は前年を下回りました。

その結果、売上高は24,557百万円と前年同期と比べ964百万円(△3.8%)の減収、セグメント利益(経常利益)は3,662百万円と前年同期と比べ1,696百万円(△31.7%)の減益となりました。なお、営業利益は3,566百万円と前年同期と比べ1,799百万円(△33.5%)の減益となりました。

(売上高の内訳)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	5,174	20.3	4,758	19.4	△416	△8.0
口腔衛生品	3,707	14.5	3,970	16.2	262	7.1
衛生雑貨品	4,489	17.6	3,960	16.1	△528	△11.8
芳香・消臭剤	7,225	28.3	7,326	29.8	101	1.4
家庭雑貨品	1,043	4.1	1,010	4.1	△33	△3.2
食品	2,456	9.6	2,206	9.0	△249	△10.1
カイロ	1,425	5.6	1,325	5.4	△100	△7.1
合計	25,522	100.0	24,557	100.0	△964	△3.8

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では計879百万円、当第1四半期連結累計期間では計763百万円となっております。

## 通信販売事業

当事業では栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告展開やダイレクトメールを中心とした積極的な販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は2,455百万円と前年同期と比べ70百万円（3.0%）の増収、セグメント損失（経常損失）は180百万円と前年同期と比べ153百万円の減益となりました。なお、営業損失は181百万円と前年同期と比べ154百万円の減益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

## 医療関連事業

当事業では連結子会社の小林メディカル株式会社が市場の拡大が見込まれる整形外科領域、手術室関連領域に特化する選択と集中をはかりました。なお、平成24年5月31日付けで、同社株式の80%を三菱商事株式会社に譲渡したため、同社は連結子会社から持分法適用関連会社となっております。

また、平成23年7月31日付けでMBO方式により、イーベントメディカルインコーポレーティッドの全株式を譲渡しております。

その結果、売上高は1,558百万円と前年同期と比べ1,053百万円（△40.3%）の減収、セグメント利益（経常利益）は233百万円と前年同期と比べ119百万円（105.2%）の増益となりました。なお、営業利益は22百万円と前年同期と比較し13百万円（144.8%）の増益となりました。

（売上高の内訳）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）		当第1四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）		増減	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	増減率 （%）
小林メディカル	2,222	85.1	1,296	83.2	△925	△41.6
イーベント社	134	5.1	—	—	△134	—
その他	254	9.8	261	16.8	6	2.5
合計	2,611	100.0	1,558	100.0	△1,053	△40.3

（注）売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

## その他事業

上記の3事業をサポートする当事業（運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等）では、各社が独立採算で経営をしているものの、主要3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は1,662百万円と前年同期と比べ68百万円（4.3%）の増収、セグメント利益（経常利益）は302百万円と前年同期と比べ15百万円（5.4%）の増益となりました。なお、営業利益は145百万円と前年同期と比べ42百万円（41.0%）の増益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では計1,366百万円、当第1四半期連結累計期間では計1,391百万円となっております。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ4,613百万円減少し、143,276百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（2,298百万円）、受取手形及び売掛金の減少（3,168百万円）、商品及び製品の増加（777百万円）、投資有価証券の増加（1,164百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7,885百万円減少し、38,126百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（904百万円）、未払金の減少（3,816百万円）、未払法人税等の減少（2,535百万円）、賞与引当金の減少（1,122百万円）、流動負債のその他の増加（1,715百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,271百万円増加し、105,150百万円となり、自己資本比率は73.4%となりました。主な要因は利益剰余金の増加（2,022百万円）によるものです。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月1日付公表の「平成24年3月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,835	40,537
受取手形及び売掛金	32,113	28,945
有価証券	11,004	11,002
商品及び製品	9,505	10,282
仕掛品	457	492
原材料及び貯蔵品	2,049	2,401
繰延税金資産	3,287	2,610
その他	1,353	1,484
貸倒引当金	△69	△48
流動資産合計	102,538	97,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,064	5,934
機械装置及び運搬具（純額）	2,159	2,074
工具、器具及び備品（純額）	1,049	915
土地	3,468	3,468
リース資産（純額）	788	617
建設仮勘定	98	210
有形固定資産合計	13,628	13,220
無形固定資産		
のれん	3,592	3,755
商標権	513	472
ソフトウェア	884	856
リース資産	46	28
その他	249	246
無形固定資産合計	5,287	5,360
投資その他の資産		
投資有価証券	19,131	20,295
長期貸付金	600	632
繰延税金資産	1,302	836
投資不動産（純額）	3,103	3,094
その他	2,455	2,291
貸倒引当金	△154	△161
投資その他の資産合計	26,437	26,988
固定資産合計	45,352	45,569
資産合計	147,890	143,276

(単位：百万円)

前連結会計年度  
(平成24年3月31日)当第1四半期連結会計期間  
(平成24年6月30日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,823	11,919
短期借入金	5	2
未払金	14,669	10,853
リース債務	391	353
未払法人税等	4,497	1,962
未払消費税等	382	384
返品調整引当金	1,038	748
賞与引当金	2,095	972
資産除去債務	13	10
その他	1,873	3,588
流動負債合計	37,791	30,795
固定負債		
リース債務	483	328
退職給付引当金	5,312	4,820
役員退職慰労引当金	17	17
資産除去債務	87	71
その他	2,318	2,093
固定負債合計	8,220	7,330
負債合計	46,011	38,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	101,127	103,149
自己株式	△4,702	△4,702
株主資本合計	104,094	106,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,998	2,536
繰延ヘッジ損益	△323	13
為替換算調整勘定	△4,050	△3,516
その他の包括利益累計額合計	△2,374	△966
新株予約権	159	—
純資産合計	101,879	105,150
負債純資産合計	147,890	143,276



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	29,866	28,079
売上原価	11,830	11,158
売上総利益	18,035	16,920
販売費及び一般管理費	12,587	13,368
営業利益	5,448	3,552
営業外収益		
受取利息	31	37
受取配当金	112	118
受取ロイヤリティー	112	129
不動産賃貸料	68	68
持分法による投資利益	51	106
その他	93	62
営業外収益合計	469	523
営業外費用		
支払利息	11	12
売上割引	249	186
不動産賃貸原価	19	18
為替差損	40	42
その他	22	21
営業外費用合計	342	281
経常利益	5,575	3,793
特別利益		
子会社株式売却益	—	2,285
固定資産売却益	—	0
その他	—	165
特別利益合計	—	2,451
特別損失		
固定資産除売却損	5	3
投資有価証券評価損	—	558
投資損失引当金繰入額	2	—
災害による損失	16	—
その他	1	16
特別損失合計	26	577
税金等調整前四半期純利益	5,548	5,667
法人税、住民税及び事業税	2,000	1,439
法人税等調整額	145	444
法人税等合計	2,146	1,883
少数株主損益調整前四半期純利益	3,402	3,783
少数株主利益	0	—
四半期純利益	3,402	3,783

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,402	3,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	538
繰延ヘッジ損益	△176	0
為替換算調整勘定	248	534
持分法適用会社に対する持分相当額	190	335
その他の包括利益合計	219	1,408
四半期包括利益	3,621	5,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,621	5,192
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,642	2,384	2,611	29,639	227	29,866	—	29,866
セグメント間の内部売上 高又は振替高	879	—	—	879	1,366	2,246	△2,246	—
計	25,522	2,384	2,611	30,518	1,593	32,112	△2,246	29,866
セグメント利益又は損失 (△)	5,358	△26	113	5,445	287	5,733	△157	5,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△157百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,794	2,455	1,558	27,808	270	28,079	—	28,079
セグメント間の内部売上 高又は振替高	763	—	—	763	1,391	2,154	△2,154	—
計	24,557	2,455	1,558	28,572	1,662	30,234	△2,154	28,079
セグメント利益又は損失 (△)	3,662	△180	233	3,715	302	4,018	△224	3,793

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△224百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、小林メディカル㈱の株式の80%を譲渡したことなどにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は3,422百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。